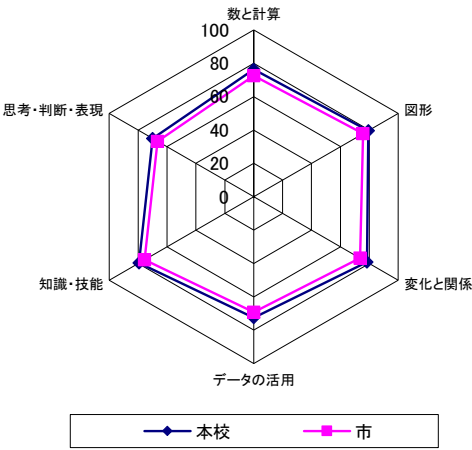


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	76.4	72.6	73.1
	図形	79.3	75.7	74.7
	変化と関係	78.4	73.6	66.1
	データの活用	72.5	69.2	70.7
観点別	知識・技能	79.4	75.5	74.4
	思考・判断・表現	69.9	66.5	67.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は市の正答率を、上回っている。 ○図を見て小数倍の文章問題を解くために除法の立式をたてる問題や文字を使った式が表す場面を選ぶ問題では市の平均を上回った。 ●計算では、わり算を苦手としている児童が多い。 ●2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求める問題では、市の平均をやや上回ったが全国正答率を下回った。 ●小数の乗法の考え方を基に整数×分数の計算のしかたの考え、説明する問題では、説明が不十分、もしくは間違えている児童が32%いた。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・計算の習熟に個人差がみられるので、繰り返し計算練習をするなどのスキル学習に取り組み、さらなるレベルアップを目指す。 ・授業の中で、解法や理由を説明したり、算数の用語を使って分かりやすく文章でまとめたりする活動を意図的に取り入れる。 ・xやyなどの文字を用いた式に慣れ親しめるよう、意図的に扱う。
図形	平均正答率は市の正答率を、上回っている。 ○2つの角が与えられた三角形の1つの外角を求める問題では、市の平均を上回った。 ●図に示された六角形の内角の和の求め方を表す式の問題では、全国正答率を下回った。 ●線対称な図形の対応する点を見つける問題では、市の平均を下回った。	・学んだことを生かすような問題に取り組んだり、一つの問題でも様々な見方や解き方があるという視点を意識して指導をする。 ・文章問題を注意深く読み、何を求めたらいいのかを正確に把握してから、学んだことを使って解決に向かう指導をする。
変化と関係	平均正答率は市の正答率を、上回っている。 ○速さの単位の関係を理科し、分速を秒速や時速に直す問題では、市の平均を上回った。 ●表から面積と人数の割合を求め、どの公園が込んでいるかを考える問題では、市の平均を下回った。「混んでいる」という状態をよく理解していない児童が多い。	・前学年で学習した内容を復習し、基礎的・基本的な指導事項を抑えながら、繰り返し学習できるようにする。 ・文章問題を注意深く読み、何を求めたらいいのかを正確に把握してから、学んだことを使って解決に向かう指導をする。
データの活用	平均正答率は市の正答率を、上回っている。 ○円グラフから割合を読み取り、基準量から比較量を求める問題では、市の平均を上回った。 ●代表値を用いて、えみさんの記録がクラスの半分より高い記録なのかどうかを説明する問題で、正答率が35.2%だった。	・文章問題を注意深く読み、何を求めたらいいのかを正確に把握してから、学んだことを使って解決に向かう指導をする。 ・グラフを見て情報を読み取る機会を多教科にまたがって意図的に取り入れ、理由や説明を記述する学習活動を重ねる。